



平成 29 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ウィルグループ
代表者名 代表取締役会長 池 田 良 介
(コード番号：6089)
問合せ先 管 理 本 部 長 高 山 智 史
(TEL. 03-6859-8880)

特別損失の計上、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 3 四半期の決算において、下記のとおり、特別損失を計上いたしましたのでお知らせするとともに、平成 28 年 5 月 10 日に公表した平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想及び平成 28 年 11 月 8 日に公表した配当予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結決算（減損損失の計上）

当社の連結子会社である WILL GROUP Asia Pacific Pte. Ltd. が所有する Scientec Consulting Pte. Ltd.（本社：シンガポール、以下「STC」といいます。）の業績が、売上、利益ともに株式取得当初の計画を下回る見込みとなりました。この状況を踏まえ、事業計画の見直しを行うとともに、STC が創出する将来キャッシュ・フローを見積もった結果、当該のれんの未償却残高の一部を減損処理することといたしました。また、当社の連結子会社である株式会社セントメディアが保有する自社利用のソフトウェアについて、回収可能性が見込めない一部の資産について減損処理を行うことといたしました。

以上の結果、当第 3 四半期連結決算において 153 百万円の減損損失を特別損失に計上いたします。

なお、STC に係る連結上ののれんについては、会計基準等に則って減損処理を行いました。STC の業績については、株式取得当初の計画にこそ及ばないものの、シンガポールに拠点を置く大手グローバル企業を中心としたクライアントの人材ニーズが旺盛な市場環境を背景に、売上・利益ともに着実に伸長しております。当社グループとしては今後も一層の関係強化を図るとともに、他の海外子会社とのグループシナジーを追及することにより、ASEAN 地域における一層の事業拡大と事業機会発掘に尽力してまいります。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期 連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	57,000	1,600	1,610	850	44.59
今回修正予想 (B)	59,000	1,670	1,680	730	38.95
増減額 (B－A)	+2,000	+70	+70	▲120	
増減率 (%)	+3.5	+4.4	+4.3	▲14.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	45,028	1,429	1,468	692	36.38

(注) 当社は、平成 28 年 12 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これにより、1 株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 業績予想の修正理由

売上高については、セールスアウトソーシング事業において既存顧客のインストアシェア拡大及び業務請負の受注に注力したことや、平成 27 年 9 月に連結子会社化した株式会社クリエイティブバンクが当期首より業績寄与したこと、コールセンターアウトソーシング事業において通信業界のほか金融業界等新たな分野の案件獲得に注力したこと、ファクトリーアウトソーシング事業において食品製造業を中心とする顧客との取引拡大に努めたこと、これら以外の事業においても堅調に推移したこと等により、当初の予想を上回る見込みとなりました。

営業利益、経常利益については、主要 3 事業以外の事業が先行投資段階にあることや業容拡大にともなう人員の増強を積極的に行っている一方、前述の売上高の増収要因がいずれも増益効果となったこと、販売費及び一般管理費において、システム関連投資等の予算が一部未消化になる見込みになったこと等により、当初の予想を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、当第 3 四半期において固定資産の減損損失 153 百万円を特別損失に計上したこと等により、平成 28 年 5 月 10 日に公表した業績予想から 120 百万円減少する見込みとなりました。

これらにより、当期連結業績予想を、売上高 59,000 百万円、営業利益 1,670 百万円、経常利益 1,680 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 730 百万円に修正いたします。

3. 配当予想の修正について

(1) 平成 29 年 3 月期 配当予想の修正

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 28 年 11 月 8 日発表)	円 銭 0.00	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想		12.00	12.00
当期実績	0.00		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	0.00	10.00	10.00

(注) 当社は、平成 28 年 12 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の株式分割を行っております。これにより、前期実績については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して記載しております。また、前期実績の年間配当金には、普通配当に加えて当社設立 10 周年の記念配当 5 円が含まれております。

(2) 配当予想の修正理由

当社は、株主への利益還元と将来に向けての安定的な事業展開に必要な内部留保の拡充を配当の基本方針としております。

今後の事業展開及び成長性等を総合的に勘案した上で、上記基本方針に則った継続性の観点から、期末普通配当を 1 株当たり 10 円 00 銭から 12 円 00 銭に修正いたします。これにより配当性向は 30.8%となる見込みです。

なお、本件は、平成 29 年 6 月下旬に開催予定の第 11 回定時株主総会に付議する予定です。

(注) 上記の予想につきましては、当社が発表日現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上